報告

関西学連定例戦　鹿夢深の森

横田実

平成 28 年 10 月 2 日 滋賀県 甲賀市

鹿夢深の森で行われる定例戦。個々のテレインの特徴は、パイプラインといわれる水管。上部を通行できるのですが、滑りやすく走行は禁止。

鹿夢深の森でのレース

ここでの大会は、2014 年のウエルカムリレー以来とか。「関西の矢板」と呼ばれているテレインで、南北を分ける川と耕作地をつないで作られるコースは、レース中に風を一身に浴びることができ爽やかな印象を与えてくれます。

アクティベートって？

今回は、定例戦ということもあり、新人戦クラスもあります。初めて E カードを使う子もいるのか、スタート地点のスタッフの先輩に「アクティベートって何ですか」と聞いている子もいて、少し心配。

尾根が細かい

ここのテレインは、林の中で尾根が細かく方向を変えているので、ひとつミスすると混乱してしまうことがある。

まして、他のクラスの隣接コントロールがあり、うっかりしているとミスパンチをしてしまう。残念ながらＢクラスで出たISOC奥田くんが、１番でそれにひっかかってしまい痛恨のペナ。コントロール番号の確認は、しっかりしましょう。

短冊での速報

今回、速報所に今は珍しい短冊形式の速報も並べていました。これは、新人戦用だったようですが、最近はプリントアウトしたものの掲示が多いので、新鮮に感じました。